



# 日本体育・スポーツ経営学会 2023年度 第3回研究報告会

## 体育・スポーツ経営学の未来を考える ～歴史的研究方法からのアプローチ～

第3回研究報告会では、一般経営学及び経営史学の研究者として歴史的研究を行っている酒井健氏（論文「経営・組織論研究における歴史的転回：その軌跡と針路」『組織科学第55巻4号』2022年, 所収ほか）をお招きし、歴史的研究の方法や最新の実践についてお話をうかがう運びとなりました。酒井氏は、国際的な研究動向を基に経営・組織論研究において歴史的研究の重要性が再認識されている「歴史的転回」を論じつつ、今後の発展に向けた方向性を提案されています。スポーツ組織を対象とした研究でも、長期にわたる縦断的なプロセスや事例の置かれている文脈、当事者の主観的解釈を十分に考慮する歴史的研究によって、従来の実証研究では見落とされてきた多様な要因や現象を明らかにできる可能性があるのではないのでしょうか。体育・スポーツ特有の文脈や当事者の主観的解釈に基づいた、体育・スポーツ経営学における組織論の発展に向けて、こうした方法論的アプローチについて理解を深めることの意義は大きいと考えます。ぜひ、ご参加ください。

### 酒井健氏 プロフィール



2003年 早稲田大学法学部 卒業  
2015年 一橋大学大学院 商学研究科  
博士後期課程修了 博士（商学）  
2023年 一橋大学経営管理研究科 准教授  
(兼 東北大学大学院経済学研究科 准教授)

お申込みはQRコードまたはURLより  
お申込期限：2023年12月13日（水）まで

参加費無料



<https://docs.google.com/forms/d/1pi90CJ78HBvKFu591owKQtJjqbFkMawLE6bcJTClpag/edit>

日時：2023年12月16日（土）13:30-15:30 方法：対面とオンライン  
対面会場：早稲田大学早稲田キャンパス 7号館206教室



本研究報告会は、日本スポーツ体育健康科学学術連合2023年度後期補助金の助成を受けて実施するものです。